

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	内容が教科・科目の目標に適合しており、程度が本校生徒の実態に即している。また、題材の配列、分量も適切で、色覚的にも生徒にとって学習しやすいものとなっている。
	地理歴史	程度が本校生徒の実態に即し、内容もわかりやすい。また、図や写真など資料が見やすい。
	公民	程度が本校生徒の実態に即し、内容もわかりやすい。また、図や写真など資料が見やすい。
	数学	教科書の難易度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。
	理科	難易度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合していて、配列や関連付けも適切である。
	保健体育	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、本文、表現等が正確で資料等が最新である。
	芸術	内容が各科目の目標に適合しており、内容の関連付けや分量も適切である。
	外国語	程度が本校生徒の実態に即し、内容が教科・科目の目標に適合している。また、題材が生徒に興味深いものが多く、それを基に意見交換がしやすい内容が多い。
	家庭	本文、図表、表現等が正確で、内容の配列や関連づけも適切である。また内容の程度も本校の生徒の実態に即しており、教科の目標を達成するのに適している。
	情報	
	理数	
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	
	商業	内容が、教科・科目の目標に適合しており、程度が生徒の実態に即している。学習内容は合理的にまとめられた構成であり、具体的事例や統計資料等が多くあるなど、教科の目標を達成できるよう、適切な創意・工夫がなされている。
	水産	
	家庭	
	看護	
	情報	
	福祉	